

発案元第 11 号

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた諸対策について

上記の案を提出する。

令和元年 6 月 20 日

提出兼賛成者	議員	石 渡	ゆきこ	議員	榎 本	あゆみ
	同	なかね	大	同	黒崎	ゆういち
	同	福 島	宏 子	同	やなざわ	亜紀
	同	土 屋	準	同	琴 尾	みさと
	同	清 家	あ い	同	なかまえ	由紀
	同	ゆうき	くみこ	同	池 田	こうじ
	同	七 戸	じゅん	同	近 藤	まさ子

港区議会議長 様

(理由) 口頭をもって説明する。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた諸対策について（案）

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が2020年に迫り、東京をはじめ、日本全体が日々盛り上がりを見せています。港区内では、オリンピック・パラリンピック競技のトライアスロン、オリンピック競技の水泳(マラソンスイミング)がお台場海浜公園を会場として行われます。また、港区は、大会期間中にお台場学園をスポーツ・サービス・センターとしてイギリスオリンピック委員会に提供する契約を締結するなど、大会の気運醸成に取り組んでいます。

観光資源が多く、宿泊施設が集積し、交通ネットワークの要でもある港区には、この大会によって、国内外からの多くの来街者が予想されます。この大会を契機に、国内外に向けた戦略的な情報発信の多言語化をはじめとする国際化やまちのバリアフリー化、更には、大会以降も区の魅力を感じ、愛着を持って繰り返し訪れてもらうための施策が重要となります。

また、区民のスポーツへの関心を高め、MINATOシティハーフマラソンの継続的な開催やオリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートを身近に感じる事業を実施するなど、「する」「みる」「支える」スポーツ活動を促進し、これまで以上に気運を高めるための取り組みが必要です。

以上の諸対策について、調査・研究を行うために本案を提案した次第であります。